

[工事業者様用] ●このたびは、東芝パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン受信部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●取付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取付けを行ってください。
この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン（天井カセット形 4 方向吹出しタイプ）
ワイヤレスリモコン受信部

取付説明書

形名 RBC-AXRU41U(W)(C)(N)(K)

安全上のご注意 については、天井カセット形 4 方向吹出しタイプ（以下室内ユニット）の据付説明書・取扱説明書、あるいは天井パネルに付属の取付説明書をご覧ください。

付属部品

（次の部品が入っています。）

No.	①	②	③	④	⑤	⑥
品名	受信部	取付説明書（本書）	コードクランプ	コードクランプ 固定ねじ φ4×12	ワイヤーκランプ	結束バンド
個数	1	1	1	1	2	1

※ワイヤレスリモコンは別売の RBC-ATX41 を使用してください。

※⑤ワイヤーκランプと⑥結束バンドは GP シリーズのみ使用します。

取付前の受信部の設定

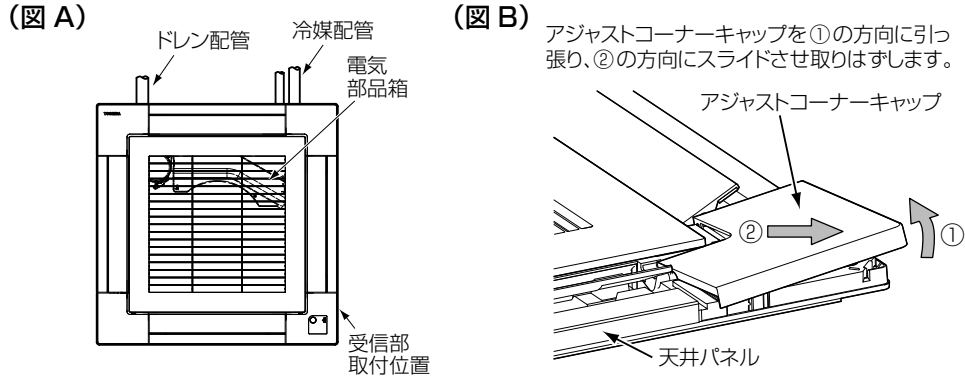
受信部取付前に各項目をご覧になり、設定を実施してください。

- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）
- 同じ部屋に複数の受信部を設置する場合 → リモコンの A/B 切替設定

受信部の取付け

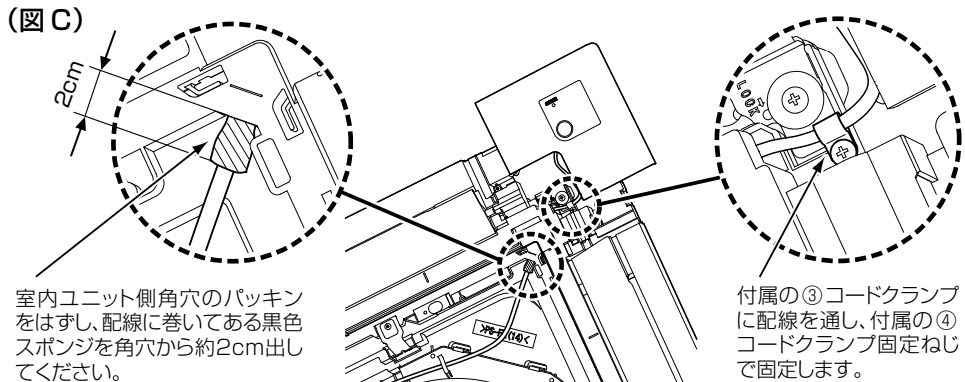
※受信部が取付け可能なコーナー部は図 A に示した 1 か所のみです。パネルを取り付けたときの向きを考慮し室内ユニットを据え付けてください。

1. 吸込グリルをはずします。
2. 受信部取付位置のアジャストコーナーキャップをはずします。（図 B）

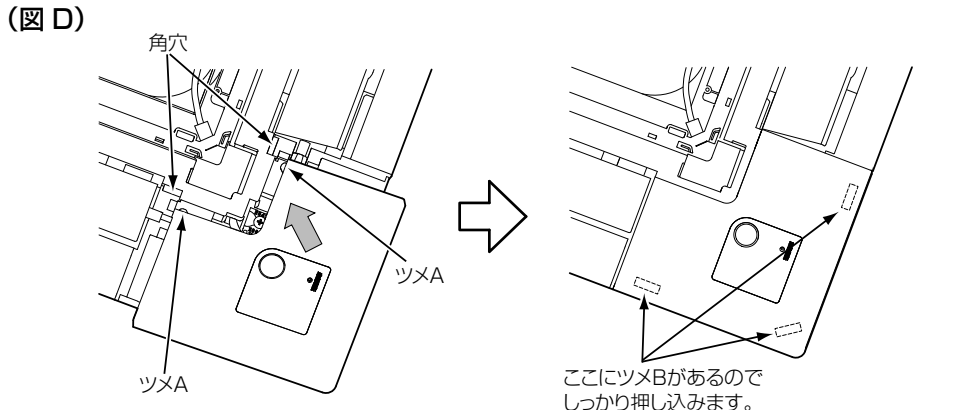


3. 天井パネルは配線を通すための角穴にパッキンが詰めてあります。パッキンをはずしてから受信部の配線を角穴に通します。（図 C）
4. 配線に巻いてある黒色のスポンジを室内ユニット側の角穴から約 2cm ほど出した状態にして、コードκランプでねじ固定します。（図 C）

※黒色スポンジの位置決めを確実にしないと、水漏れ・露付き・配線の結露などを起こすおそれがありますので、必ず行ってください。



5. 受信部をパネルに取り付けます。このとき、配線をはさまないよう注意してください。（図 D）
- 受信部のツメがはまっていない箇所があると水漏れや動作不良の原因となりますので、ツメ A（2 か所）とツメ B（3 か所）を確実にしっかりと奥まで押し込み、受信部の浮きがないことを確認してください。



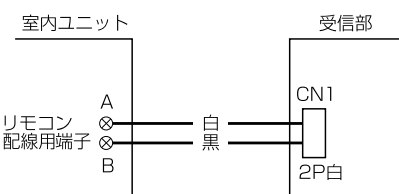
パネルの角穴へ受信部のツメ A（2 か所）を矢印の方向へ差し込みます。

受信部裏面のツメ B（3 か所）がはまるように押し込みます。

〈注〉受信部の配線は電源線などと一緒に合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
※配線・試運転については「受信部の配線」および「試運転について」を参照してください。

受信部の配線（GP シリーズの配線は裏面をご参照ください。）

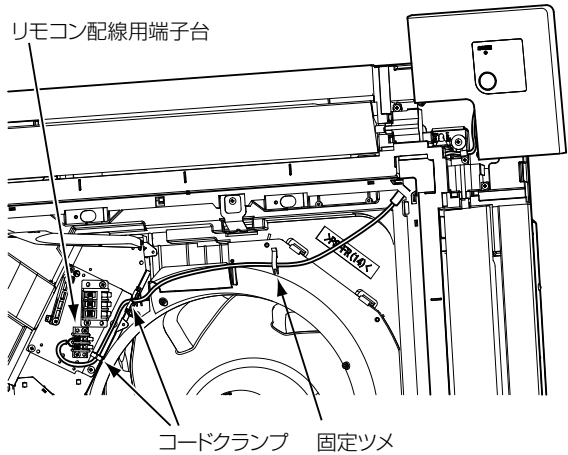
接続図



接続方法

受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。（極性はありません。）

〈注〉受信部との配線は、室内ユニットの端子番号を確認のうえ、誤配線のないよう接続してください。（AC200V を印加するとかわれます。）



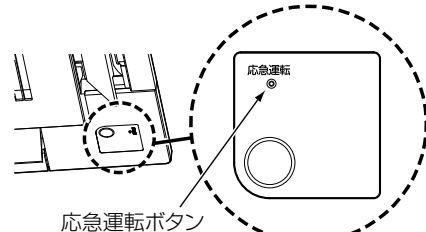
- 余った配線は電気部品箱内のコードκランプにて配線処理し、吸込グリルを取り付けます。

試運転について

リモコンによる通常操作で運転確認を行ってください。室温がサーモ OFF するような条件では、以下の手順で強制試運転ができます。強制試運転は、連続運転を防止するため、運転を 60 分経過すると試運転を解除し、通常運転に戻ります。

〔注〕強制試運転は、機器に無理が掛かりますので、試運転以外では使用しないでください。

1. 「応急運転」ボタンを 10 秒以上押して離すと「ピッ」と音が鳴り、強制冷房運転になります。（30 秒以上押すと強制冷房運転になりません。）約 3 分後に強制的に冷房運転を開始します。冷風が吹き出すか確認してください。運転を始めないときは、配線を再確認してください。
2. 試運転を停止するときは、「応急運転」ボタンをもう一度押します（約 1 秒）。フラップが閉まり運転を停止します。



ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）

ワイヤードリモコンと同時設置することにより、1 台もしくは複数台のユニットを 2 個のリモコンで操作することができます。

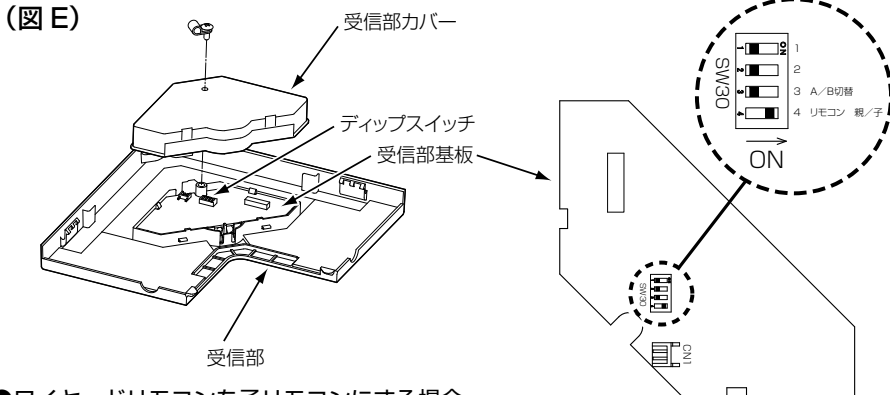
（ワイヤレスリモコン・ワイヤードリモコンを合わせて最大 2 台まで設置可能です。）

2 つのリモコンで操作する場合は、「親リモコン」と「子リモコン」の設定が必要です。

以下の手順でどちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

●ワイヤレスリモコンを子リモコンにする場合

1. 電源ブレーカを OFF にします。
2. 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
3. 受信部基板のディップスイッチ SW30 の 4 番を OFF ⇒ ON にしてください。



●ワイヤードリモコンを子リモコンにする場合

変更方法は、ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

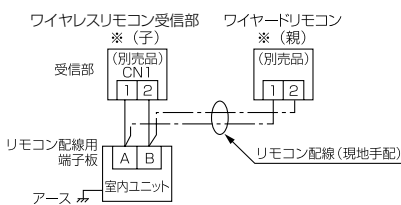
〈注〉リモコン親子設定が正しく行われていない場合は、点検コード「E 01」「E 03」または「E 09」が表示されます。

●基本配線図

〈注〉配線 A・B の極性はありません。

室内ユニット 1 台をリモコン 2 台で操作する場合

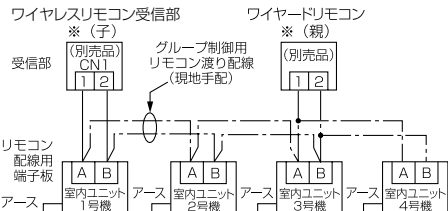
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



- 現地配線は 0.5mm² ～ 2mm² を使用します。
- 総配線長は 400m 以内としてください。

複数台グループ制御を、リモコン 2 台で操作する場合

※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。



- 現地配線は 0.5mm² ～ 2mm² を使用します。
- グループ渡り配線の室内ユニット間の最大配線長は 200m 以内としてください。

リモコンの A／B 切替設定

●同じ部屋に複数の受信部が設置されているときは、混信を防ぐためにリモコンの A／B 切替を設定することができます。

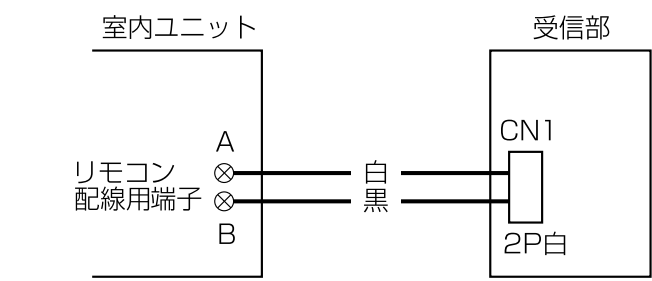
1. 電源ブレーカを OFF にします。
2. 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
3. 受信部基板のディップスイッチ SW30 の 3 番を OFF ⇒ ON にします。（図 E）

※この設定内容はワイヤレスリモコン受信部側の設定でありワイヤレスリモコンの A／B 設定変更を行わないと操作が出来ませんので、ワイヤレスリモコンの取扱説明書をご覧ください。

受信部の配線 (GPシリーズ)

1. ⑤ワイヤークランプを室内ユニット吸込口の穴 2ヵ所に取り付ける (図 F)
2. 受信部配線を⑤ワイヤークランプと室内ユニットの固定ツメを通して、電気部品箱まで引き回します。(図 F)
- 電気部品箱に入るまでの配線はたるみのないようにしてください。(余った配線は電気部品箱内で処理してください。)

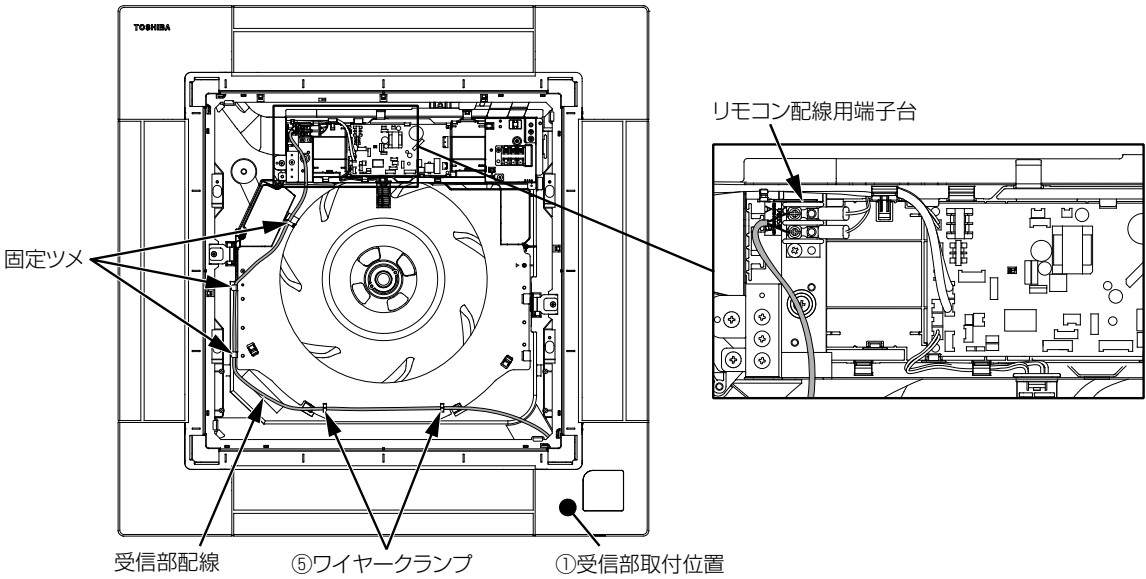
接続図 (図 F)



接続方法

受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。(極性はありません。)

〈注〉受信部との配線は、室内ユニットの端子番号を確認のうえ、誤配線のないよう接続してください。(AC200Vを印加するとこわれます。)



- オートグリルパネルと併用する場合は、室内ユニットにパネルを取り付ける前に受信部の取付けを行い、受信部配線をオートグリルパネルの昇降メカリード線に⑥結束バンドで固定してください。

